

いお たお 労 福 協

大分県労働者福祉協議会  
機関紙 第78号

大分市中央町4-2-5  
ソレイユ 6F  
☎(097)533-1106  
発行人 嶋崎 龍生  
2008. 1. 1発行

働く仲間の声に  
応えたい



大分県労働者福祉協議会  
会長 嶋崎 龍生

大分県労働者福祉協議会に結集する県下会員組織・組合員の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中、労福協諸活動展開にあたり、皆様のご理解と絶大なご居力をいただきました。多くの成果を得られたことに心からお礼申し上げます。さて、子の年・二〇〇八年が幕を明けました。子年の「子」の字は「増える」ことを意味し、種子の中に新しい生命が芽生える様子を表しているといわれていますが、私たちが取り巻く環境は依然として不安定かつ不透明であり、夢や希望を抱ける社会は未だに実現していません。国会は今、与野党勢力が衆議院と参議院で逆転するというわけに現れ、衆議院で会期再延長が行われ、衆議院解散総選挙が近づきつつあります。その政治状況の混迷と比例して、勤労者の暮らしも年々苦しさや厳しさが増加しつつあります。なぜ、仲間戦後最長の「いざな

ぎ景気」を超えた景気回復傾向といわれながら、増収増益の企業実績でありながら、株主配当や役員報酬は倍増しながら、その豊かさが勤労者に及ばないのでしょか。小泉・安倍政権は徹底してアメリカに追随、強硬な姿勢をさらに強く、弱肉強食の政策を強行し続けています。企業においては、正社員からパートや派遣等、安く使えていつでも解雇できる非正社員へと雇用を切り替えていきました。政治においては、取れるところ・取りやすいところから取るという安易な社会保障料や税の増に終始しました。

その結果が、9年連続しての年取減少であり、すでに全雇用労働者の3割を占めるに至ったパートや派遣等、非正社員の増加であり、700万世帯に及ぶワーキングプアと称される生活保護世帯以下で働く層の急増であります。06年における民間サラリーマンの年間所得200万円以下は、21年ぶりに1千万人を超えました。年収300万円以下は、年々増加し全体の3割以上を占めて1700万人に近づきつつあります。景気は回復したと言われても、労働者・生活者の生活が全く改善されていないこと。逆に、収入は減り続け負担が増え続けていること。これが、この国の現実であります。

れません。私たちが、働く者の立場から「労働の尊厳」を強く訴えたいと願います。

働くことをほこりとし、自信を持ってふさわしい処遇を追求しなければなりません。私たちの進める福祉活動は、心への活力源でもあります。明日の労働と体の栄養素であり、明日の労働への活力源でもあります。多く働く仲間、実効ある福祉諸施策の遂行に力を注いでまいります。あらゆる福祉政策実現！行動を展開してまいります。

昨年11月、大分地区労福協は「ライフサポートセンター」をソレイユ2階に開設しました。これは、連合大分の呼びかけにより労福協と構成する福祉事業団体が一年間にわたって検討を進めていたもので、組織労働者はもつとより未組織で働く多くの仲間が抱える悩みや問題に対してこれまでの労働相談等に加え、医療や介護、住まいや税金など、より多くの相談にお答えしサービスが提供できる「労働者の拠り所」としてのセンターをめざしています。また、相談やサービス提供を通じて福祉事業団体の運営にも貢献することを願っています。規制緩和に伴う競争激化や組合員の減少等により、福祉事業団体の経営状況も決して安心できるものではないと、働く仲間や生活者の安心・安全には絶対不可欠の事業であり、構成会員相互による健全経営の努力と、地域へいかなければなりません。県労福協は、県内労働者の限

【構成会員団体】

- 分組庫済協連 協会館協連
- 単 生 済 会 福
- 大・金 生 協 療 福 社
- 別 労 医 共 福 退
- 合 産 働 合 生 者 福 勞 退
- 要 勞 民 働 区
- 連 主 勞 全 總 県 勤 勞 地 高

ない福祉を追求する立場から、本年も構成会員の事業発展に全力投入してまいります。と同時に、私も県労福協の事業も時代の声に必要に迫られており、求める・求められる形に前進を検討していく決意であります。取り巻く環境変化に揺るぐことなく、真の働く仲間の代表として、会員組織・組合員が一体となった活動を共に進めていきたいと思います。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、それぞれの事業が一層飛躍されますこと、そして関係する全ての皆様にとつて幸多き一年でありますように祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

2007年度 福祉研修会

大分県労働者福祉協議会主催する「福祉研修会」が中央労福協の「福祉研修会」(9月・11月)にあわせて、11月15日(木)13時30分から全労済ソレイユに加盟組織の役員・職員約70名が出席し開催されました。研修会は、嶋崎龍生会長が主催する大分県商工労働部・河野建設課長補

佐の祝辞のあと、労働者福祉中央協議会・笹森清会長の「労働運動と労福協活動の歴史と今後の展望について」と題する基調講演に入門しました。笹森会長は、戦後GHQの日本国家改造戦略と民主化5大政策(経営・人権・教育・女性の権利・労働組合政策)から60年代の安部・三井・三池紛争を経て70年代の日本型労使関係(終身雇用による高成長期、しかし90年代には政治単独政権・連立政権・経済インフレ・デフレ経済・労働(労働4団体)連合労働運動と変化を遂げた。今日の少子・高齢化・人口減少社会のなかで労働・福祉活動のあり方について、市民セクター、社会セクターの一員として社会の担い手として共感を得られる運動、職場から地域活動拠点に地域社会に貢献できる組織が必要。全国ネット、活動拠点を保持している労福協の役割を強調されました。事務局局長から「ライフサポートセンター」設置経過と課題」と題する活動報告がされました。

活動報告では、昨年11月の連合大分・各事業団体・県労福協による「ライフサポートセンター」設立検討委員会、具体的には、11月29日に大分地区労福協「ライフサポートセンター」を開会する。センターは、ワンストップサービス(総合生活支援)による、勤労市民が安心・安全で豊かに暮らせる地域社会の実現に向け、事業団体・連合大分・退職者連合・行政・NPO等の団体・組織とネットワークを強め、助け合い、支えあいを基盤とした勤労者の福祉活動を担える活動を行うことの報告が

あいつつに始まり、来賓として大分県商工労働部・河野建設課長補

あいつつに始まり、来賓として大分県商工労働部・河野建設課長補



# ライフサポートセンター開設のご案内

大分県労働者福祉協議会を構成する各団体は、地域における生涯福祉の実現、共助システム確立等、総合生活支援事業(ライフサポート事業)を創設し、勤労者・市民が安心・安全で豊かに暮らせるよう地域社会の実現をめざす組織として、ライフサポートセンターを11月29日に開設しました。

## 生活応援団

専門家のネットワークでサポートします。

●ライフサポートセンターは、以下の団体が責任をもって運営します。

- ◆大分県労働者福祉協議会 ◆全労済大分県本部 ◆九州労働金庫大分県本部
- ◆大分県勤労者共済会 ◆大分県勤労者医療生協 ◆日本労働組合総連合会大分県連合会など

### 連合大分

「労働なんでも相談」

### ネットワーク先へ取り次ぎ

法律、税務相談など

### 福祉団体

「暮らしなんでも相談」  
介護・医療・住まい・共済相談など

専門家のネットワーク

### 活動内容

●電話・面談による暮らしの相談活動

日常生活の中で、いろいろな出来事・悩みが発生したときに、利用できる制度やサービスを提供できる機関、協力団体とのネットワークを使って案内します。専門的なアドバイスを受けるお手伝いをします。

### 利用条件

●どなたでも利用できます。

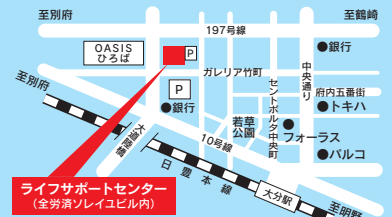
●事務所の開所時間は、平日の9時から17時までです。

相談および取り次ぎは原則無料ですが、専門家(弁護士)等に相談する場合は別途料金がかかる場合がありますので、ご了承ください。

## 大分地区労働者福祉協議会

# ライフサポートセンター

大分市中央町4-2-5 ソレイユ2F 大分地区労働者福祉協議会内  
TEL097-533-5655 FAX097-533-5658



提供も行う。

旅行・旅行レジャー情報  
ツィイベント  
活動、スポーツ  
相談では文化  
る。生きがい  
ドバイスをす  
い生活へのア  
医療など幅広  
働・生活・福祉  
く勤労者の労  
大分県内で働  
トセンターは  
ライフサポー

「ライフサポ  
いたつされた。  
きたい」とあ  
に努力してゆ  
の見える運動  
て、地域に顔  
がる拠点とし  
域のなかで連  
がら大きく広

が出席した。  
分市の関係者  
体の代表、大  
県生協連など  
済会・勤労者  
総合生協・勤  
や労働金庫・  
開所式には連  
レギュで開か

レギュで開か  
所式が11月2  
地区労働協  
の相談や生き  
し龍生会長  
連合大分・大

連合大分・大  
が主体となり  
が設立した、  
暮らした、暮ら  
の相談や生き  
し龍生会長  
連合大分・大

### 大分地区労福協

## 「ライフサポートセンター」開所式



## 労福協クイズ

35

簡単な設問ですので奮ってご応募ください。

- ①現代の経済は〇〇〇経済。
- ②労金では、お客様の可処分所得向上の取組みとして〇〇〇〇〇強化月間を設けて推進しています。

### 応募方法

・ハガキに、①、②それぞれの答えを書き、住所、氏名、職場名を明記の上送付して下さい。  
・締め切り2008年1月31日消印有効。  
・正解者の中から抽選により、10名の方に図書券をお送りします。  
・当選者発表は、機関紙79号

### あて先

〒870-0035 大分市中央町4丁目2番5号  
大分県労働福祉会館(ソレイユ)2F  
大分県労働者福祉協議会編集委員会宛

◎この機関紙へのご意見ご感想などお寄せ下さい。

## 第34回(機関紙77号)クイズの答え

- ① 白鶴
- ② 後期高齢者医療制度

機関紙77号の第34回クイズに多数の応募をいただきありがとうございます。誠に申し訳ありません。厳正な抽選の結果、次の10名の方が当選されました。また貴重なご意見ご感想ありがとうございました。

- ＝敬称略＝
- 森田ふみよ(別府市) 河野ひとみ(大分市)
  - 見玉 千秋(佐伯市) 泥谷 裕司(佐伯市)
  - 矢野 由美(佐伯市) 加藤 昌俊(津久喜市)
  - 澤田 照彦(大分市) 三笠真衣子(日田市)
  - 河野 茂徳(佐伯市) 園田 洋一(大分市)

# 新年のご挨拶



全労済大分県本部  
大分県総合生協・グループ

理事長 羽明 省三

新年あけましておめでとう  
ございます。  
皆様には健やかに新年を迎えられ、決意も新たにされた  
ことと思います。

先ずもつてこの1年が、幸  
せ多い躍動の年となりますよ  
うお祈り申し上げます。

昨年中は、全労済大分県本  
部・総合生協・(社)労働福祉会  
館ソレイユ・(財)やすらぎ霊園・  
(株)大分コープ商事の各事業推  
進に対しまして温かいご支  
援・ご協力を賜り、心より厚  
く御礼を申し上げます。

さて、今年こそは「明るいま  
来が切り拓けるように」「誰も  
が安心して暮らせる元気な日  
本を取り戻せるように」との  
思いですが、勤労者を取り巻  
く情勢は依然として厳しいも  
のが伺われます。

少子高齢化の進行や格差社  
会の到来・社会構造の変化に  
よる非正規雇用者の増大・労  
働組合の組織率低下・団塊世  
代の多量退職・生協法の改正・  
郵政民営化・職域・地域の加

入比率の変化・保険商品の銀  
行窓口販売の全面解禁など、  
全労済を取り巻く環境も大き  
く変化しており、契約者保護、  
経営健全性等多くの課題が山  
積しています。

このような中、全労済は昨  
年創立50周年を迎えました。  
共有すべき全労済の変わらぬ  
価値観として「みんなであら  
けあい、豊かで安心できる社  
会づくり」を理念に、次の50年  
を展望した新たな事業活動を  
展開していくこととしていま  
す。

大分県本部も1960年5  
月「大分県労済生協」としてス  
タートした労働者福祉運動の  
歴史的経過を踏まえ「組合員  
の全労済」の実現に向け、さら  
に助け合いの輪を広げ社会的  
責任を果たすため役員一丸と  
なって努力して参ります。

全労済大分県本部・総合生  
協・各グループへの変わりな  
いご支援、ご協力を節にお願  
い申し上げますとともに、み  
なさまのご健勝とご活躍をお  
祈り申し上げます念頭の挨拶とし  
ます。

## 全労済大分県本部 第3回理事会開催

11月20日、理事18名・監事  
3名の出席をいただき、20  
07年度の第3回理事会を開  
催しました。

報告事項として、①前回理  
事会以降の主な会議開催状況  
報告、②2006年度業績評  
価結果の開設と特徴点につ  
いて、③西日本事業本部200  
7年度第1四半期実績報告お  
よび県本部予算実績差異報告  
について、④(財)大分県勤労  
民共済会からの「共済契約の  
全労済移行についてのお願  
い」について、⑤第2回「役職  
員ボランティア活動」につ  
いて、⑥共済金支払いに関する  
自主的調査の実施状況につ  
いて、⑦事業の進捗状況につ  
いて、⑧その他についての報告  
を行い、全員異議なく承認さ  
れました。

協議事項では、①理事の退  
任およびオプザーバー確認に  
ついて、②その他についての  
提案を行い、全員異議なく承  
認されました。

### 今後の日程

◆第4回理事会の開催  
2008年1月28日(月)

## 生活保障プランナー 養成講座開催しました!!

2007年11月17日(土)・18日(日)に「生活保障プラン  
ナー養成講座」を開講しました。この養成講座は、協力  
団体(労組等)の組合員が安心してゆとりある暮らしを  
目指すため、組合員からの保障・税金・社会保障などの相  
談に協力団体自ら対応できる「プランナー育成」を目的  
に全労済が開講しているものです。今回の講座では労働  
組合、福利厚生担当者や書記さん達が参加され31名の修  
了者が新たに生まれました。全労済では今後もプラン  
ナー育成に向け開催を予定しています。

### 修了者のみなさんの声 (一部抜粋)

- ◆保障内容の見直しや検討が必要であると感じました。
- ◆40代から考える老後のライフプランが参考になった。
- ◆常識として知っておくべき内容であったので、大変ためになりました。

## 環境美化清掃 活動2回目開催

快晴の天気の中11月10日  
(土)に第2回「役員ボラン  
ティア活動」として日出町の  
糸ヶ浜海浜公園で環境美化清  
掃活動を開催しました。当日  
は全労済の役員をはじめ連  
合大分別速杆園東地協の松島  
議長・矢須田事務局長ら関係  
者を含め55名の参加の中、環  
境保護に役立つことができま  
した。今後も引き続き奇数月  
の開催を予定しております。

## こ〜んなバスが走っています!

交通広告として、大分市内で大分バス(2台)・大分交通(2台)  
に、こくみん共済のキャラクター「ヒット君ファミリー」の  
ラッピングバスを運行しています。可愛がってくださいね!



お問い合わせは 全労済大分県本部 ☎097-548-6031

- 2007年度 **第3回理事会開催**
- さる11月20日(火)ソレイユにおいて2007年度第3回理事会を開催いたしました。協議事項の主な内容は次の通りです。
- 1、**独自事業のあり方検討委員会報告について**
  - 2、**大分県消費者問題ネットワーク加盟について**
  - 3、**事業活動について**
- ★**住宅事業下期活動計画**  
「かたしま台」、「ゆめが丘」、「にじが丘」各団地の販売  
リフォーム部門の紹介募集  
活動
- ★**旅行事業下期活動計画**  
2007年度新年会企画  
格安航空パック商品の販売  
バスツアー企画、販売  
春の催事の取り組み

明けましておめでとう  
ございます。  
皆さまには、輝かしい  
新春を、お迎えの事とお  
慶び申し上げますと共に、  
総合生協運動に対する  
日頃のご協力に對し  
厚くお礼申し上げます。  
本年も住宅・旅行事業  
の拡大に向けて従業員  
一丸となって奮闘して  
まいります。旧年に倍し  
ますご指導ご鞭撻をよ  
ろしくお願い申し上げます。

## こんな工事を行っています。

**キッチンの  
リフォーム**

楽しみいっぱい広がる  
オープンキッチンに。

**バスルームの  
リフォーム**

お風呂でもっと  
くつろぎたい!

**床・室内の  
リフォーム**

断熱や防音のために  
窓はこだわりたい!

**トイレの  
リフォーム**

お掃除簡単!  
床を洗って流せるトイレに。

**外壁・屋根の  
リフォーム**

雨漏りは  
ひび割れや汚れが原因。

**エントランスの  
リフォーム**

アプローチを  
レンガ貼りにしてみたい。

## 介護保険リフォームも承ります

建築士・福祉住環境コーディネーターが、自立・介護のお手伝いとしてのリフォームをケアマネージャーさんと相談して施工しています。介護保険適用認定者の方は、保険より補助が受けられます。

お問い合わせは  
**大分県総合生協 住宅部  
リフォーム課**  
〒870-0035 大分市中央町4-1-32 総合生協会館1階  
TEL097-513-6006 FAX097-538-2456  
E-mail : ikenaga@sogoseikyjo.jp

## グリーンウッドかたしま台

●土地付注文住宅(建築条件付宅地) ●建築条件なし宅地

残りもいよいよ**28**区画! お急ぎください!!

**好評販売中!!**

**自由墓** ゆとり5m! **好評販売中!!**  
墓地だけの先行取得もできます。

アンケートにお答えいただいた方に贈品をプレゼント



大分市  
中心部から車で  
約20分

お申し込み  
お問い合わせ  
(本報日誌係)

住し様に合わせたお墓環境  
**やすらぎ霊園**  
竹中墓地

ニュータイプの  
規格墓が新登場!  
墓石と墓地のセットプランも  
お家めやすくなりました。



永代供養堂が  
新しくなりました。  
永代供養堂はお墓の建立まで、  
納骨堂としてもご利用いただけます。

## 2008年総合生協の新春企画

**九重“夢”大吊橋と  
高塚愛宕地蔵尊  
参拝の旅** (日帰り)

■旅行日 **2008年1月27日(日)**

■旅行代金 **5,800円** 昼食付き  
(大人、子供同額)

スケジュール ※当日の道路事情により順番が入れ替わることがあります。

佐伯(7:00)＝大分＝別府＝九重“夢”大吊橋 夢の大吊橋を体験!  
＝日田＝サッポロビール新九州工場 昼食と工場見学＝高塚  
愛宕地蔵尊 参拝 諸事祈願成就＝天ヶ瀬温泉 サンビレッヂ  
入浴とお買い物＝別府＝大分＝佐伯(19:30頃)

- 出発地 佐伯・大分・別府 各地出発(添乗員が大分から同行します)
- 募集人員 40名(最少催行人員30名)
- 旅行代金に含まれるもの  
往復貸切バス代、大吊橋入場料、入浴料、昼食、添乗員同行費用
- 集合場所等を明記した最終行程表を出発前にお渡しいたします。詳しくは係員にお尋ね下さい。

※お取消料のご案内  
15日前:無料 14～6日前:20% 7～2日前:30% 前日:40%  
当日(出発前):50% 出発後:100%

詳しくは、総合生協 旅行センターへお問い合わせください。  
**TEL097-548-5515 FAX097-538-2456**

旅行企画実施:大分県知事登録旅行業第2-40 総合旅行業務取扱管理者/上金靖典

# 新年のご挨拶



財団法人 大分県勤労県民共済会  
理事長 亀山 哲

新年明けましておめでとう  
ございます。旧年中は、県民共  
済会の事業に多大なご支援・  
ご協力を賜り、厚くお礼申し  
上げます。

財団法人である「県民共済  
会」は、二〇〇六年四月施行の  
「保険業法の一部改正」と六月  
に可決・成立した「公益法人  
改革整備法」により、最長二〇  
一三年までに

①別組織を設立して共済事業  
を続けるのか？  
②「少額短期保険業者」として  
少額・短期の共済のみで共  
済事業を続けるのか？  
③他組織と事業統合または契  
約移転を行い、共済事業を  
廃止するのか？

を選択しなければならぬ大  
きな岐路に立たされました。  
「契約者の保障をどう守るの  
か」「財団をどうするのか」「職  
員の雇用をどう守るのか」今  
後の県民共済会の進むべき道  
について、一昨年十月から一  
年間、組織検討委員会・理事  
会で慎重に模索・検討してま  
いりました。

その結果、新しい組織を設  
立しても制度認可や経営面で  
かなり厳しくなることが予測  
されるし、労働者福祉運動(共  
済事業)の窓口は一本化が望  
ましい等々の理由で、現段階  
における最良の道は「全労済  
に事業統合または契約移転す  
ることだ」との結論に達し、昨  
年暮より全労済と「共済契約  
の全労済移行」について具体  
的な検討に入っています。

三十年間に亘り、県下の労  
働組合、協力団体の勤労者の  
皆さんにご協力いただき、育  
てていただいた「県民共済会  
ですが、今回の法改正で現行  
の大型保障の医療扶助共済や  
長期契約の介護共済が運用で  
きなることと、更に激しく  
なってくる生損保との競争の  
中で加入者の将来的な安心・  
安全を考えた時、労働者福祉  
運動の全国組織への一本化が  
望ましいことから決断いたし  
ました。

年明けとともに具体的作業  
に入る「共済契約の全労済移  
行」にご理解とご協力を賜り  
ますようお願い申し上げます  
て、新年のご挨拶とさせてい  
たきます。

第一回  
パソコン  
教室を開催

県民共済会では、公益法人  
として、県内の勤労者のため  
の福祉事業に取り組んでいます。  
その一環として、恒例と  
なっていますパソコン教室を  
今年度も開催しました。  
今回は、大分県消費生活・  
男女共同参画プラザ「アイネ  
ス」にて各二十名を募集し、エ  
クセル・ワードを中心とした  
内容で実施しました。

受講者は、職場でも家庭で  
も必須となりつつあるパソコ  
ン技術の修得、向上のため、真  
剣な眼差しで取り組んでいま  
した。

- ①エクセル・ワード初中級  
十月二十九日、  
十一月十三日まで  
(全十四回)
- ②エクセル・ワード初級  
十月三〇日、  
十一月二十七日まで  
(全八回)



## 団体医療扶助共済

団体加入だから少ない掛金で  
「病氣入院・病氣手術」を保障します!!



保障内容(共済期間1年)	20口	40口	60口	こんなときにお支払いします。	お支払の限度
病気で入院したとき (病氣入院共済金)	日額 <b>2,000円</b>	日額 <b>4,000円</b>	日額 <b>6,000円</b>	①病氣の治療を目的として入院されたとき。 ②日帰り入院からお支払いします。	1回の入院または 1共済期間につき 最高180日まで
病気で手術したとき (病氣手術共済金)	1回につき <b>1・2・4万円</b>	1回につき <b>2・4・8万円</b>	1回につき <b>3・6・12万円</b>	①病氣の治療を目的として所定の手術を受 けられたとき(入院日額の5・10・20倍) ※手術の種類によっては、対象とならない 場合もあります。	一部の手術を除き 回数は無制限
月払掛金	<b>330円</b>	<b>660円</b>	<b>990円</b>	※100口まで加入できます	

# 新年のご挨拶



大分県生活協同組合連合会  
会長理事 足立 勇一

新年明けましておめでとう  
ございます。

平素より生協県連に対しま  
して、各界の皆様のご支援ご  
協力に深く感謝申し上げます。

昨年は、世界は大きく変革  
期を迎え、国内においても経  
済は回復にあるといわれてい  
るが、依然として雇用問題を  
始め中小企業等では厳しいも  
のがあり、個人消費も横ばい  
状況です。

消費者を取り巻く情勢は、  
消費者被害、BSE、食品の偽  
装表示等の食の安全など、現  
実の不安に年金や税などの将  
来的不安、石油原価の高騰か  
らすべての商品の価格上昇等  
で生活苦が続いています。

このような中で、消費者問  
題では弁護士や司法書士、消  
費者団体や学識経験者で特定  
非営利活動法人「大分県消費  
者問題ネットワーク」を設立  
し、本年度から具体的活動を  
開始し、消費者に対して、各種  
消費者被害の調査、情報提供、  
救済活動事業等を行い、消費  
者の人権擁護及び社会教育の  
推進に寄与することを目的と

して活動して行くことになり  
ました。

さらに平和の問題では、  
人々の平和の願いに逆行しシ  
ラク戦争は泥沼化し、中東や  
アジアなどの戦争と報復テロ  
は、罪のない多くの市民を死  
と恐怖に陥り、新たな憎しみ  
と緊張を生み出し、また北朝  
鮮の核開発の動きも危惧され  
る中、戦争の悲惨さ、二度と戦  
争を起こさないために昨年は  
敗戦・被爆62年としての取り  
組み、大分県における戦争遺  
跡めぐりを実施し、改めて平  
和の大切さを学ばした。環境  
問題も地球温暖化等地球規模  
での環境破壊を克服し、21世  
紀を担う子どもたちが未来に  
希望をもって生き生きと安心  
してくらせる社会を創ってい  
くことが重要となっていま  
す。

大分県における生協運動  
は、県生協連合会に結集する  
生協は、12生協となり、組合員  
数は延べ43万人に達し、年間  
事業高も285億円となってい  
ます。時代は大きく変わろうと  
しており、生協運動において  
も59年ぶりに生協法が大幅に  
改正され、発展の力となるガ  
バナンスの構築、事業と活動

においての公益性の充実、新  
たな連帯政策と暮らしへの貢  
献度の向上が求められてお  
り、組合員の信頼と社会の期  
待にこたえられる生協をつく  
りあげてゆかなければなりま

## 2007年度 役職員研修会開催

### 改正生協法に備えて

大分県生協連に加盟する、  
県下12生協の役職員の代表90  
名が参加して、「役職員研修  
会」が11月22日(木)、大分市全  
労済会館ソレイユにて開催し  
ました。



研修会  
は、まず、  
生活協同  
組合コー  
プにおい  
た全地域  
の理事の  
綿末しの

ぶさんが総合司会者となっ  
て、始まり、主催者を代表して  
足立県生協連会長が「大分県  
消費者問題ネットワークの設  
立と個人会員の募集について  
の協力と」、生協法改正が59年  
ぶりに大幅な改正が行われる  
が、各生協での研修や検討に  
ついては十分に対応するため  
にも今回の研修会をいかして  
ほしいことから開催した」旨  
のあいさつがありました。

最後に、会員の皆さんと  
もに関係各位、皆様方のご指  
導・ご支援を心よりお願い申  
し上げ、年頭のごあいさつと  
いたします。

視点、参考として役員選出制  
度の検討のために、改正生協  
法のもとでの監事・監査制度  
のあり方、①組織・運営規定  
に関する施行時期について、  
系統だったお話をしていただ  
きました。

で、大分県生活環境部県民生  
活・男女参画課課長の安見美  
代子氏は、「生協の行政に対す  
る生協に感謝し、行政として  
消費者団体訴訟制度の受け皿  
づくりや、災害協定について  
積極的に活動されている。共  
に協力して行きましょう」、日  
本生協連合会九州地連事務局  
の近藤美和子氏は、「全国や九  
州の生協の状況や生協法改正  
の状況について」、顧問の亀山  
哲氏と小野弘利氏を代表して  
大分県議会議員の小野弘利氏  
からは、「時代は変わってきて  
いるが、生協の本来の原則を  
守り、役割をはたしてほしい」と  
それぞれ立場からのお話  
をしていただきました。

講演は、日本生活協同組合  
連合会専務理事の品川尚志氏  
と改正生協法対策室の小嶋幹  
雄氏から「改正生協法につい  
て」と題して講演されました。  
講演の内容は、①生協法改  
正の意味と活かす方向、②改  
正生協法の概要と対応課題の  
全体像、③組織・運営規定の  
考え方とガバナンス見直しの  
主な背景であります。

# 医療崩壊を許さない運動を!

明けましておめでとうございませう。

今年には十二支の始まりの子年ですが、医療を取り巻く環境は非常に厳しい幕開けです。小泉内閣5年間で、続く安倍内閣でも社会全般にわたる構造改革を断行してきた結果、社会格差が拡大し、国民生活の困難さを際立たせています。そうした中で一昨年成

立した医療制度改革関連法の多くの部分が今年4月から実施に移されます。その柱は新

たな負担を高齢者に求める「後期高齢者医療制度」です。

もう一つは、どのくらいの国民が知っているのかと、その効果に早くも疑問が投げ掛けられている「特定健診・特定保健指導」です。

医療制度改革では短期、中期、長期に分けて医療費の抑制を図っていく方法を網羅しています。短期的には公費削減、患者負担上げなどです。中・長期的には都道府県ごとの医療費適正化計画策定、療

養病床削減、特定健診・特定保健指導などで、福田内閣はこの方針を堅持しています。

しかし、昨年の参議院選挙の結果は、こうした社会保障制度の後退などの社会不安に対する民意の表れでした。私たち医療生協は、医療崩壊の動きに対抗して地域医療の充実、発展と患者の権利のために運動、努力、責任を果たしていきます。



## 母べえを観よう!

人々から平和な暮らしを奪った激動の時代。しかし、そこには父と母が信じ合い、子供たちを守り抜く家族の愛があり、他人同士でも困った時は助け合う思いやりがありました。そんな日本が失いかけている心を描き、困難な時にこそ信じるものは何かを問いかける感動品。それが映画『母べえ』です。

この映画は、主演の吉永小百合さんが原作を気に入り、山田洋次監督に話を持ち込んで制作が実現しました。映画の中では「現代のすべての人たちがもう一度考えるべき問題」を提起していて、多くの方に観ていただくために日生協医療部会が創立50周年事業として観賞運動に取り組んでいます。大分協和病院と佐伯診療所に全国共通観賞券を準備していますのでご利用ください。(1月26日まで)

価格 **900円** 一般前売券 1,300円 当日券 1,800円

※大分での上映=1月26日より、Tジョイパークプレイス大分・シネプレックス東宝11

## 熱戦

# ミニバレーボール大会

地域の組合員活動として取り組んでいる「大分協和病院ミニバレーボール大会」を地元勤労協の皆さんの協力も得て12月2日に開催しました。

今年で18回目となる大会には新参加の3チームを加えて市内各地から24チームが集まって熱戦が展開されました。

三連覇を狙う「日岡レビン」をどのチームが阻止するかが注目の一つでしたが、予選の初戦で強豪の植田カラズを僅差で破り、決勝トーナメントでも厳しい戦いを制して優勝し、来年の県生協連の大



## 仲良くもちつき

年末恒例の「もちつき大会」を12月15日に行いました。今年も勤労協や地元自治会の方々の加勢をいただいて、約40kgの餅を2時間ほどでつきあげました。

今年は、3歳の双子姉妹の飛び入りもあって賑やかな餅つきになり、つきたての餅は来院者や入院の患者さんたちに振る舞われました。



会への出場権も手にしました。

- 優勝 日岡レビン
- 準優勝 リバース藤
- 第三位 O.S.P
- 第四位 Ft マックス

# 新年のご挨拶



九州労働金庫大分県本部  
県本部長 南 征一郎

新年あけましておめでとう  
ございます。

二〇〇七年度は、政府が進める行財政改革によって格差社会の歪みがより一層明確になり、私たち働く仲間の生活状況も悪化するばかりです。このような中で、労金運動は確実に前進、拡大しており、会員団体や運営委員会・推進委員会の役員をはじめ多くの労働者のご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。さて、昨年度は四年振りに県内推進委員が一同に介した

## 我が支店のホープ

労金各支店の年男、年女の若手ホープを毎号ご紹介いたします。

職場・支店でお会いしましたらお気軽に声をお掛けください。

## 二〇〇八年私の抱負

九州労働金庫別府支店

眞島 唯

はじめまして、私は昨年4月九州労働金庫に入庫し、現在は別府支店で預金窓口業務を担当しています。

私の今年の抱負は「ありがとう」をたくさん集められる

研修会開催やサラ金等のグレイゾーン金利撤廃の一千万人署名取組み成果として消費者金融に対する法改正が決定しました。

また、昨年度に引き続き働く者の福祉金融機関として、高金利に苦しむ勤労者の救済や予防取組みとして多重債務対策本部を設置して、法律の専門家との提携による相談体制の強化、可処分所得向上を目指した借換え運動強化月間の取組みを行っております。

本年もこの「しあわせ創造運動(労働者の「生活設計」「生活防衛」「生活改善)」を労金運動の基盤として更なる前進に向けた運動の展開を広め、

年にするということですが。

私は福岡出身で社会人となって初めて大分に来ました。最初は知らない土地、人、仕事という環境にとても不安を感じていましたが、働いていく中で、同じ支店の方やろうきんに来店下さるお客様をはじめとして大分の方々の人柄、土地柄に温かさを感じ、今では楽しく過ごしているところなんです。

支店の方々には、失敗した時のフォローをしてもらったり、教わることもばかりです。又、窓口においていなくなるお客様から学ぶことも多くありました。昨年は、たくさんの方々に毎日感謝するばかりの一年でした。ですから今年

家計の健康作りに貢献しながら、「安心・安全・健全」なろうきんの充実化を目指して参ります。

更に、団塊世代の方々の退職期が到来し、少子高齢化社会への対応に真摯に取組み「ろうきん友の会」加入による、ライフパートナーとしてお付き合いをお願いいたします。

なお、今後も若い組合員の労金運動三画として、フレッシュヤーズキャンペーンやフットサル企画等の取組継続を行います。

本年の干支はネズミであり、労金は幅広い労働者の結集を、ネズミ算のような会員加入を目指して頑張りますので、「オラが労金」へ昨年同様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとつて、今年も輝かしい一年でありますよう祈念して年頭のご挨拶といたします。

その分、少しでも多くの方のお役に立てる年にしたいと考えています。

お客様が困った時に、ろうきんへ相談したいと思うような支店作り、そして利用して良かったと思われようような接客に心がけたいと思います。そのためにも、更に勉強し、知識を高め何がお客様と一緒に働く人にとつて一番良いことかを考え、行動出来るようにしたいと思っております。

入庫二年目の私には、まだまだ難しいことかもしれませんが、日々成長する向上心と人の立場に立つことを忘れず頑張りたいと思います。これからも宜しくお願ひ致します。

# 中小企業にお勤めの方へ 大分県提携融資制度をご存知ですか？

大分県は勤労者福祉支援策として、中小企業にお勤めの方(労金会員も可)へ労働金庫と提携したご利用しやすい各種ローン制度を設けており、例えば「教育ローン」なら以下のとおりです。

- 融資額 **最高200万円以内** 融資金利 **年2.26%**(固定：保証料別)
- 返済期間 **10年以内**(最長据4年以内の据置期間を含みます。)
- 保証料率 **0.7%又は1.2%が必要**です。 年間総融資額 **520万円**

※保証期間の承諾がいただけ無い場合は融資をお断りする場合があります。 ※総融資枠に達した時点で、ご融資をお断りする場合があります。

是非とも県内の労金各支店へお気軽にお尋ねの上、ご利用ください。